

報道機関各位

令和6年5月23日
北九州市上下水道局

豪雨からまちを守る『底力』

昭和町雨水貯留管完成!!

25mプール26杯分も雨水を貯められる!

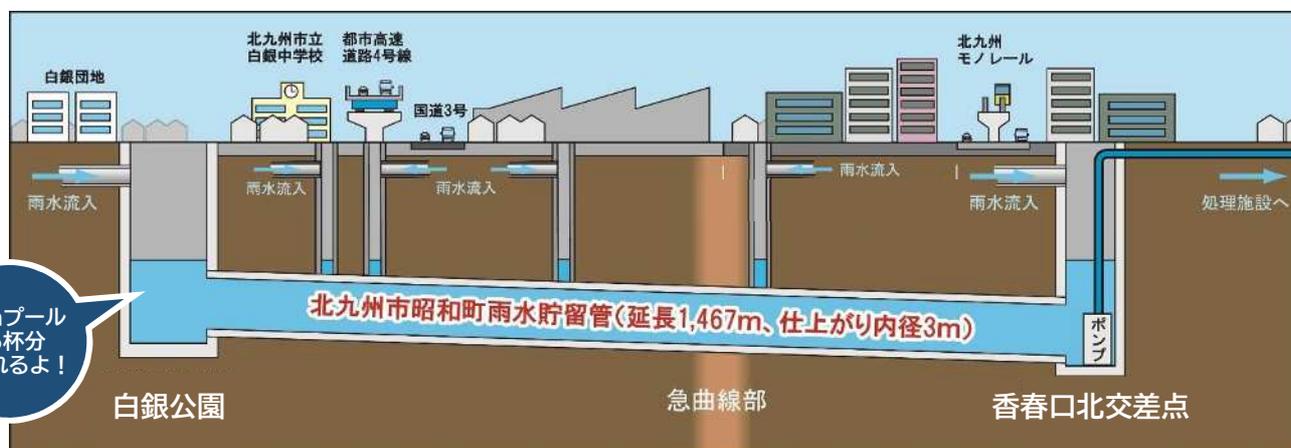
- 小倉都心部の豪雨対策として進めておりました「昭和町雨水貯留管整備事業」が、令和6年の梅雨を迎える前に**完成しました**。
- この雨水貯留管は、既設下水道管の排水能力を超えた雨水を一時的に9,500m³貯めることができ、**豪雨時の浸水被害が軽減されます**。

1 事業目的

平成25年7月、平成30年7月の豪雨により、小倉北区昭和町地区ほかでは、床上・床下浸水などが発生したことから、この浸水被害の軽減を図るために雨水貯留管を整備しました。

2 事業概要

- (1)整備内容 雨水貯留管(内径3,000mm L=1,467m(シールド工法) 貯留量 9,500 m³)、排水ポンプ、流入渠6箇所、維持管理人孔3箇所
- (2)事業期間 平成27年度～令和6年度(約10年間)
- (3)事業費 約60億円



3 完成記念式典 (5月17日記者発表済み)

日時: 令和6年5月25日(土)10時～11時(受付:9時30分)

場所: 白銀公園(小倉北区白銀二丁目6番)

内容: 主催者挨拶、来賓挨拶、テープカット、デザインマンホール蓋お披露目、デザイナーへの感謝状等授与

取材お願いします!

【問い合わせ先】

上下水道局下水道整備課 担当: 松藤(課長)、西村(係長)

電話: 093-582-2482

上下水道局のキャラクター
「スイッピー」

豪雨対策のPR動画を公開しています！

北九州市で行っている豪雨対策事業を市民の方にPRするため、動画を作成しました。動画はYouTubeチャンネルで公開中ですので、ぜひご覧ください。

▼YouTubeチャンネル
「北九州市上下水道局下水道部」



▼YouTubeチャンネル
「北九州市公式チャンネル」



下水道管をスケートボードで走ってみた

雨水貯留管（直径3m、延長約1.5km）の中を、スケートボード選手が滑走しました。丸い形状や長さを活かして、スピード感のある演技を披露しています。



大雨を謎の地下トンネルに追い詰めろ！

市民に迷惑をかける大雨を“悪役”、雨水貯留管を“ヒーロー”に見立て、ヒーローが悪役をバイクで追走して捕まえるストーリーで、雨水貯留管の役割を表現しています。



大雨から街を守る！昭和町雨水貯留管

昭和町雨水貯留管について解説するとともに、雨水貯留管の役割をドローンの映像やイラストを用いながらわかりやすく説明しています。



360度VR映像で体感！雨水貯留管

北九州市上下水道局のキャラクター“スイッピー”と一緒に、雨水貯留管内を冒険し、簡単なクイズで子どもが楽しめる動画となっています。



大雨への備え 北九州市の豪雨対策も紹介

浸水被害にあった方にインタビューをして市民の防災意識の向上に役立てています。また上下水道局や消防局の職員が市民に日頃から備えてもらいたいことを紹介しています。

昭和町 雨水貯留管

■ 豪雨からまちを守る底力

雨水貯留管

大雨

北九州市上下水道局

この表紙は、豪雨対策事業を市民の方にPRするため作成した動画の一部で、市民に迷惑をかける大雨を“悪役”雨水貯留管を“ヒーロー”に見立て、大雨を実際の雨水貯留管内にバイクで追い込む内容で雨水貯留管の役割を表現しています。詳細はQRコードへアクセス!!



豪雨への備え

● 事前確認



「北九州市防災 ガイドブック・ハザードマップ」は北九州市HPに掲載

内水浸水想定区域図

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/suidou/s01101096.html>



● ゴミの清掃



強い雨が降ると、浸水しやすい箇所があります。内水氾濫マップやハザードマップを用いて避難ルートや浸水しやすい箇所を確認しましょう。

雨水が流れるところに落ち葉等があると浸水の原因になります。日頃から清掃を心掛けましょう。

雨水タンク

Trend

家庭で取り組むことができる浸水対策

屋根等に降った雨を一時的に貯めて晴れた日にガーデニングや災害時などの水として有効に使えます。

各家庭に設置することで雨水貯留管のような効果を発揮します。

雨水タンクの購入金額の一部を助成します。(令和6年度時点)
詳しくは、北九州市上下水道局HPをご確認ください。



◀北九州市上下水道局HP

昭和町雨水貯留管 事業概要

貯留量 9,500m³ /

事業名	昭和町雨水貯留管整備事業	内容	内径3000mm、延長1467m(シールド工法)、排水ポンプ、流入渠6箇所、維持管理人孔3箇所
事業箇所	北九州市小倉北区昭和町ほか	事業費	約60億円
事業期間	平成27年度～令和6年度	事業主体	北九州市上下水道局

事業の経緯と目的

本市では、「安らぐまち」の実現のため、近年頻発化している、豪雨への対策を積極的に進めています。

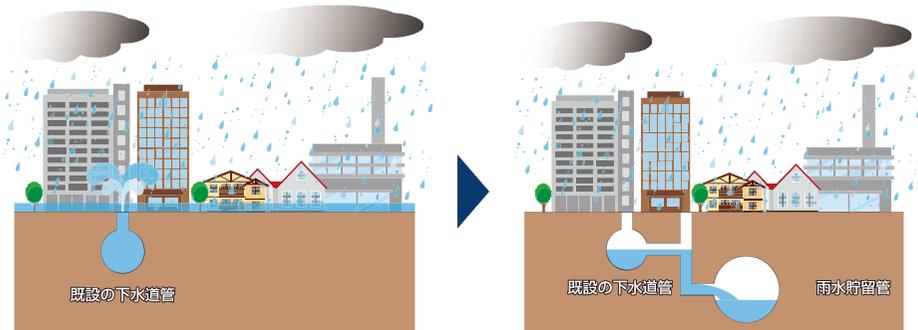
小倉北区昭和町地区では、平成25年、平成30年の豪雨において多くの浸水被害が発生しました。

その対策として、内径3m、延長約1.5km、貯留量9,500m³の貯留管を整備しました。



雨水貯留管の効果

既設の下水道管の能力を超える雨水を一時的に貯留管で貯めることによって浸水被害が軽減されます。貯まった雨水は、雨が弱まった時にポンプで排水し、排水した雨水は浄化センターへ流します。



工事の流れ



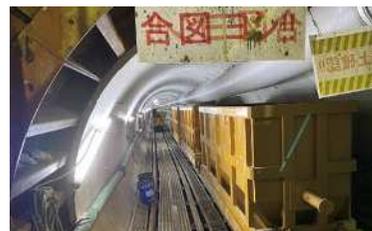
① 地下を掘る機械

昭和町雨水貯留管専用のシールドマシンという機械を使って地下を掘ります。



② 貯留管の組立

分割されたコンクリート曲板(セグメント)を機械で掘ったところまで運び、円形に組み立てながら管を作ります。



③ 工事中の管内

工事延長が長いので、セグメントや掘削した土砂を運ぶためのレールを管内に敷いています。



④ 雨水貯留管完成

完成した貯留管には、小学生が夢や希望などを描きました。土砂の清掃がしやすくなるよう管底に溝をつくっています。

地域のシンボルへ

この貯留管は、地下15mにある構造物で、完成後は、市民の目にふれることがありません。そのため、記憶に残る広報を目的に完成前の貯留管で、見学会の開催やPR動画を制作しました。

また、マンホール蓋だけは、地上に設置されることから、貯留管のシンボルとして白銀中学校の生徒に蓋のデザインをしてもらいました。



白銀公園に設置したマンホール蓋



管内で撮影した豪雨対策のPR動画



小学生に向けた管内での出前授業